総務経済常任委員会活動レポート

開　催　日：令和８年７月 15 日（水）
開催場所：１・２号委員会室

総　務　部

１．防災について

（１）　防災ラジオ・屋外拡声装置

屋外拡声装置と連動する FM ラジオの起動に必要な DTMF 信号の機器に周波数の異常が確認され、更新に向けて費用を見積もるとの報告がありました。

【主な質疑】

委員：屋外拡声装置の本格運用はいつを予定していますか？

担当：令和８年７月 17 日からを予定しています。

委員：設備更新の規模は？

担当：現在業者に見積もりを依頼中のため、具体的な規模は確定していません。

（２）　令和８年度根室振興局防災訓練

８月 27 日に、北海道から管内１市４町へ支援物資を輸送する想定で、陸路及び海路を使った広域訓練を行うとの報告を受けました。これは中標津シルバースポーツセンターを物資の起点として、総合体育館、標津町生涯学習センター、標津漁港等を経て、根室市及び羅臼町へ輸送するものです。

【主な質疑】

委員：どのような物資をどの程度輸送しますか？

担当：各町から希望を聴取し、食料、水及び日用品等を輸送する予定です。

委員：実災害時の船舶手配は協定やフローに基づき自動的に依頼されますか？

担当：船舶の手配は根室振興局が主体となり、対応可能な期間を選定して依頼します。

委員：このような訓練は次年度以降も継続されますか？

担当：根室振興局の継続は現時点で確認できていませんが、町は広域連携を重要と考えているため、訓練の振り返りの場で継続実施を働きかけます。

２．町税について

令和７年度の町税収納率は全体で 98.16％となり、釧路・根室地方広域地方税滞納整理機構への引継ぎは 30 件でした。また、所得・課税証明書のコンビニ交付は、地方公共団体情報システム機構との接続試験に時間を要し、開始日を７月１日から９月１日に延期することが報告されました。

３．町財政の現状について

令和７年度の決算、地方債、基金残高等、町の財政状況について説明を受けました。

大型施設の更新等により地方残高債は高水準で、住民一人当たりの負債額や世代間比

率が高い状況にあります。

一方、町有地の売払い等により財政調整基金に積み立てが行われています。

【主な質疑】

委員：実質公債費比率 12.7％で令和 12 年度の目標値と開きがあります。今後予定する道の駅的大型施設等の整備に対し町はどう考えますか？

担当：DX 等による歳出削減に加え、ふるさと納税、クラウドファンディング、ネーミングライツ等による歳入確保が特に重要と考えます。

経　済　部

町内事業者物価高騰対策として、令和８年１月 15 日から２月 28 日まで実施したポイント還元の結果について報告を受けました。対象 99 事業者、決済総額約１億 3634 万円、還元総額は 1517 万円で予算の 4900 万円には達しませんでした。

【主な質疑】

委員：町民からはどのような声がありましたか？

担当：ポイント還元について若い世代には好評だった一方で、高齢者からは分かりにくいとの声がありました。

委員：今回の事業で行った商圏分析をどのように活用しますか？

担当：近隣町だけでなく、オホーツクや釧路管内から来訪していることが数値で確認されたので、来訪のあった地域を広告対象として活用し、経済施策だけでなく政策推進課の人口減少対策等にも情報共有します。

建設水道部

１．建設工事発注進捗状況について

令和８年度は７月６日時点で工事及び委託業務合計 158 件の計画に対し 94 件を発注済みで、うち町内割合は 86.4％との報告を受けました。

２．緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

委員会として、キャンプ場の通信環境や施設等について現状の説明を求め、以下のような回答を得ました。

・キャンプ場周辺の通信環境が不安定なので、少なくとも管理棟と利用者が電話できる環境を令和９年の正式オープンに向け整えたい。
・トイレのドアは注意書きだけではなく、自動で閉まるようにダンパー付きに変更。
・早朝、野鳥観察などをする町民の利用については、公園の利用が９時から 17 時となっているため、現時点で利用可能とすることは難しいが、今後利用状況を踏まえ可能な方法を検討します。
・キャンプ場と公園の境界が分かりにくいことについては、遊具本体とその周辺が公園として管理しており、場外駐車場からキャンプ場の横を通って利用できることを広報紙や現地看板で周知します。